



平成24年8月期 第4四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月29日

上場会社名 ケイティケイ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 3035 URL <http://www.ktk.gr.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)伊藤 主計
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)木村 裕史 (TEL)052-931-1881
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第4四半期の連結業績(平成23年5月21日～平成24年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第4四半期	8,399	—	25	—	19	—	6	—
23年5月期	8,692	△3.2	49	△73.3	44	△74.4	18	△80.2

(注) 1 包括利益 24年8月期第4四半期 5百万円(—%) 23年5月期 16百万円(△82.9%)

2 決算期の変更(5月20日を8月20日)に伴い、当期は平成23年5月21日から平成24年8月20日までの15か月の変則決算となります。このため対前年同四半期増減率については、比較対象となる金額がありませんので記載しておりません。

3 平成23年5月期における四半期純利益については、通期の数値を記載しております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第4四半期	1.68	—
23年5月期	5.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第4四半期	4,190	2,030	48.5
23年5月期	4,250	2,064	48.6

(参考) 自己資本 24年8月期第4四半期 2,030百万円 23年5月期 2,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年8月期	—	4.00	—	—	—
24年8月期(予想)	—	—	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年8月期の連結業績予想（平成23年5月21日～平成24年8月20日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,479	—	20	—	12	—	1	—	0.36

（注）1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 決算期の変更（5月20日を8月20日）に伴い、当期は平成23年5月21日から平成24年8月20日までの15か月の
変則決算となります。このため通期の増減比率については、比較対象となる金額がありませんので開示して
おりません。

4. その他

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 社（社名）、除外 社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年8月期4Q	3,675,000株	23年5月期	3,675,000株
24年8月期4Q	37,715株	23年5月期	37,715株
24年8月期4Q	3,637,285株	23年5月期	3,637,354株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算
短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える
不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異
なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意
事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結
業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 4 四半期連結累計期間(平成23年 5 月21日～平成24年 5 月20日)のわが国経済は、東日本大震災の復興需要などにより景気は持ち直しつつあるものの、欧州債務危機の再燃、中国経済の減速など懸念材料も多く、景気の回復は緩やかなものになりました。

このような中で、当社グループを取り巻く経営環境は、引き続き企業の節約志向が高く、トナーなどの消耗品においては販売競争も激化し厳しい状況が続いております。

これらの結果、当第 4 四半期連結累計期間の売上高は8,399百万円となりました。営業利益は25百万円、経常利益は19百万円、四半期純利益は6百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(サプライ事業)

当社グループの主力商品であるリサイクル商品(リパケットナー)は、販売本数が前年を下回り、売上高も減少いたしました。

OAサプライ商品は、純正トナーカートリッジ並びに紙製品全般の販売量が落ち込み、売上高は減少いたしました。

その他においては、当社独自のWeb購買システム「ケイティケイ はつするネット」の推進に伴い、引き続き一般事務用品の販売が好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は8,135百万円、セグメント損失(経常損失)は13百万円となりました。

(ソリューション事業)

企業の情報化への投資意欲は上向き傾向にあり、引き続きIT商品のセキュリティ関連商品、DR(ディザスタリカバリ)関連商品が好調で売上高が増加しました。

これらの結果、売上高は264百万円、セグメント利益(経常利益)は32百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産

当第 4 四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ59百万円減少し、4,190百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ25百万円減少し、2,429百万円となりました。これは、主に商品及び製品が12百万円、原材料及び貯蔵品が51百万円それぞれ増加し、現金及び預金が80百万円、受取手形及び売掛金が10百万円それぞれ減少したこと等によります。固定資産は前連結会計年度末に比べ34百万円減少し、1,760百万円となりました。これは主に投資その他の資産が24百万円増加し、有形固定資産が22百万円、無形固定資産が36百万円それぞれ減少したこと等によります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ29百万円減少し、2,016百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が13百万円増加し、未払法人税等が24百万円減少したこと等によります。固定負債は前連結会計年度末に比べ3百万円増加し、143百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ34百万円減少し、2,030百万円となりました。これは、主に利益剰余金が33百万円減少したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第4四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資産」という)は、前連結会計年度末に比べ63百万円減少し、661百万円となりました。

当第4四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、24百万円となりました。収入の主な要因は、税金等調整前四半期純利益18百万円、減価償却費98百万円であり、支出の主な要因は、たな卸資産の増加額65百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、33百万円となりました。収入の主な要因は、差入保証金の回収による収入28百万円であり、支出の主な要因は、有形固定資産の取得による支出26百万円、保険積立金の積立による支出14百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、53百万円となりました。支出の主な要因は、配当金の支払額39百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月期第4四半期連結決算におきましては、平成23年6月30日に公表いたしました業績予想を下回る収益となりました。

当連結会計年度におきましても、依然として当社グループを取り巻く環境は厳しい状態が続くものと予想されます。

このような状況の下、通期連結業績予想につきましては前回予想を下方修正しておりますが、引き続き経費削減等の内部改善努力と既存事業の売上拡大、利益率向上に取り組んでまいります。

なお、平成24年8月期の通期連結業績予想につきましては、平成24年6月26日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

また、当社グループは平成23年8月10日開催の第40期定時株主総会決議により、決算期を毎年5月20日から毎年8月20日に変更いたしました。このため、当連結会計年度は平成23年5月21日から平成24年8月20日までの15か月間の変則決算となっております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

《簡便な会計処理》

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第4 四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第4 四半期連結会計年度末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の変更)

第1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興の為の施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以降に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることになりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実行税率は、一時差異等に係る解消時期に応じて以下のとおりとなります。

平成24年5月20日まで 40.4%

平成24年5月21日から平成27年8月20日 37.7%

平成27年8月21日以降 35.3%

この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は1百万円増加し、法人税等調整額は1百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月20日)	当第4四半期連結会計期間 (平成24年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	899,975	819,907
受取手形及び売掛金	1,288,509	1,278,055
有価証券	20,963	20,980
商品及び製品	144,144	156,484
仕掛品	1,470	3,293
原材料及び貯蔵品	43,148	94,566
その他	59,364	58,645
貸倒引当金	△2,531	△2,429
流動資産合計	2,455,045	2,429,504
固定資産		
有形固定資産		
土地	871,590	871,590
その他(純額)	418,083	395,743
有形固定資産合計	1,289,673	1,267,333
無形固定資産		
その他	132,219	95,477
無形固定資産合計	132,219	95,477
投資その他の資産		
その他	380,389	401,504
貸倒引当金	△7,225	△3,511
投資その他の資産合計	373,163	397,993
固定資産合計	1,795,056	1,760,804
資産合計	4,250,101	4,190,308
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	893,927	907,076
短期借入金	805,772	805,772
未払法人税等	30,103	5,893
その他	316,156	298,027
流動負債合計	2,045,959	2,016,769
固定負債		
長期借入金	16,431	10,659
役員退職慰労引当金	54,493	66,288
その他	68,572	66,109
固定負債合計	139,496	143,057
負債合計	2,185,456	2,159,826

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 5 月20日)	当第 4 四半期連結会計期間 (平成24年 5 月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	259,675	259,675
利益剰余金	1,531,069	1,497,184
自己株式	△20,929	△20,929
株主資本合計	2,064,489	2,030,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	△122
その他の包括利益累計額合計	155	△122
純資産合計	2,064,645	2,030,482
負債純資産合計	4,250,101	4,190,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 4 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第 4 四半期連結累計期間 (自 平成23年 5 月21日 至 平成24年 5 月20日)
売上高	8,399,300
売上原価	6,258,789
売上総利益	2,140,510
販売費及び一般管理費	2,115,364
営業利益	25,145
営業外収益	
受取利息	188
受取配当金	1,103
受取家賃	3,192
受取手数料	803
その他	9,000
営業外収益合計	14,287
営業外費用	
支払利息	10,390
固定資産除却損	5,933
その他	4,085
営業外費用合計	20,409
経常利益	19,023
特別損失	
投資有価証券評価損	634
特別損失合計	634
税金等調整前四半期純利益	18,389
法人税、住民税及び事業税	12,703
法人税等調整額	△439
法人税等合計	12,264
少数株主損益調整前四半期純利益	6,125
四半期純利益	6,125

四半期連結包括利益計算書
第 4 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第 4 四半期連結累計期間 (自 平成23年 5 月21日 至 平成24年 5 月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,125
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△277
その他の包括利益合計	△277
四半期包括利益	5,847
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	5,847
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第 4 四半期連結累計期間 (自 平成23年 5 月21日 至 平成24年 5 月20日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	18,389
減価償却費	98,631
のれん償却額	515
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,816
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11,795
受取利息及び受取配当金	△1,291
支払利息	10,390
有形固定資産除却損	5,933
投資有価証券評価損益 (△は益)	634
売上債権の増減額 (△は増加)	14,499
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△65,580
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,148
その他	△33,955
小計	69,292
利息及び配当金の受取額	1,291
利息の支払額	△10,393
法人税等の支払額	△35,976
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,215
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△245,152
定期預金の払戻による収入	262,026
有価証券の取得による支出	△17
有形固定資産の取得による支出	△26,416
有形固定資産の売却による収入	429
無形固定資産の取得による支出	△14,161
投資有価証券の取得による支出	△2,630
差入保証金の差入による支出	△10,341
差入保証金の回収による収入	28,164
保険積立金の積立による支出	△14,590
長期前払費用の取得による支出	△11,111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△5,772
リース債務の返済による支出	△7,864
配当金の支払額	△39,972
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,608
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△63,194
現金及び現金同等物の期首残高	725,105
現金及び現金同等物の四半期末残高	661,911

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第 4 四半期連結累計期間(自 平成23年 5 月21日 至 平成24年 5 月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,135,219	264,081	8,399,300	—	8,399,300
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	616	616	△616	—
計	8,135,219	264,697	8,399,916	△616	8,399,300
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△13,742	32,766	19,023	—	19,023

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を因っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。